

産業構造が変われば貿易も変わる

		1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	1999
日本	第一次産業	13.0	10.0	6.0	5.5	4.0	3.0	4.0	2.0	2.0
	第二次産業	45.0	44.0	47.0	42.4	42.0	41.0	42.0	38.0	38.0
	第三次産業	42.0	46.0	47.0	52.1	54.0	56.0	54.0	60.0	60.0
NIEs	第一次産業	27.0	19.8	20.4	14.5	9.0	8.2	5.6	4.3	3.0
	第二次産業	23.0	30.1	29.4	35.4	39.9	40.7	39.4	36.6	35.0
	第三次産業	49.9	50.2	50.2	50.1	51.1	51.0	55.0	59.1	62.0
ASEAN 3か国	第一次産業	48.3	39.0	35.4	29.1	23.4	21.3	16.0	14.0	14.0
	第二次産業	15.6	20.2	22.2	31.5	38.2	34.8	39.2	41.4	42.8
	第三次産業	36.1	40.8	42.4	39.4	38.4	43.9	44.9	44.5	43.2
中国	第一次産業	47.0	44.0	34.0	32.4	30.0	33.0	27.0	21.0	18.0
	第二次産業	33.0	39.0	38.0	45.7	49.0	47.0	42.0	48.0	49.0
	第三次産業	20.0	17.0	28.0	21.9	21.0	20.0	31.0	31.0	33.0

(備考) 各国・地域の産業の区分は次のとおり。
 日本 - 第一次産業：農業、林業、漁業。
 第二次産業：製造業、鉱業、建設業、電気・ガス・水道業。
 第三次産業：その他の産業。
 NIEs - 第一次産業：農業、林業、漁業。
 第二次産業：製造業、鉱業、建設業、電気・ガス・水道業。
 第三次産業：その他の産業。
 ただし 1960年、65年、70年のデータには台湾は含まれていない。
 ASEAN3か国 - 第一次産業：農業、林業、漁業。
 第二次産業：製造業、鉱業、建設業、電気・ガス・水道業。
 第三次産業：その他の産業。
 インドネシア、マレーシア、タイの合計。ただし、1985年のマレーシアの構成比は87年で代用。
 中国 - 第一次産業：農業、林業、漁業。
 第二次産業：製造業、鉱業、建設業、電気・ガス・水道業。
 第三次産業：その他の産業。
 (資料) 日本、中国 - 世界銀行「世界開発報告」
 NIEs、ASEAN3か国 - 世界銀行「世界開発報告」、Asian Development Bank「Key Indicators of Developing Asian and Pacific Countries」から作成。

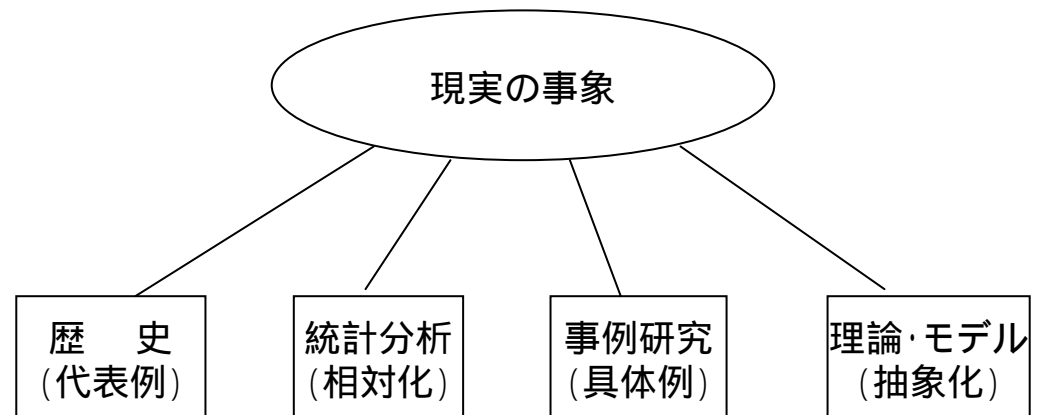
貿易の発展史

出欠と先生への質問、先生からの質問

便利なサイト
 総理府『世界の統計』<http://www.stat.go.jp/data/sekai/>
 授業の復習：<http://www.moneyginza.com/>

次回授業の予告：ノート提出
 レポートの予告
 本を読んで、疑問点、新しい発見などをまとめる。
 5月後半から6月前半に説明

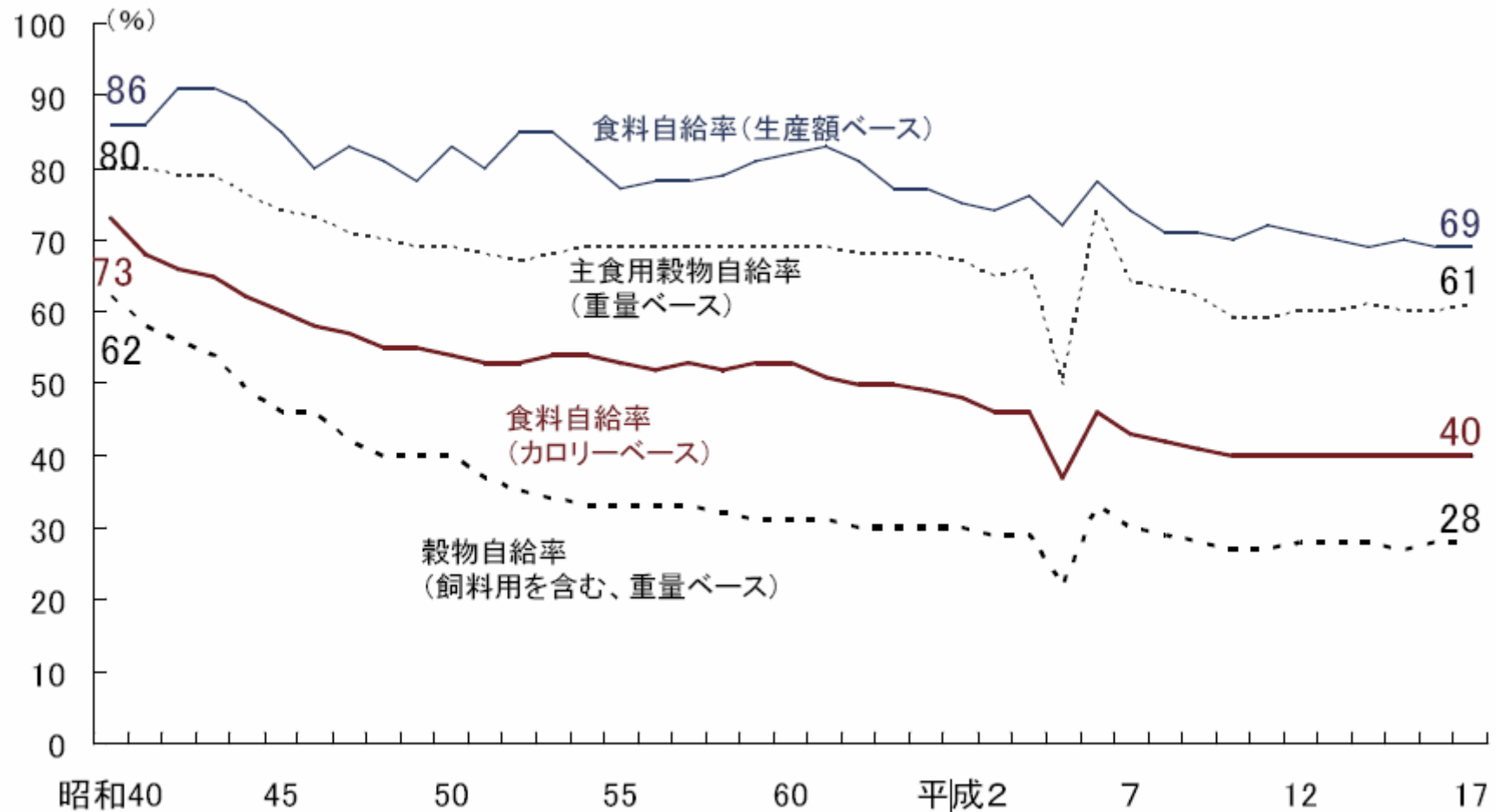
国際経済論などの分析手法 = 考える道具



100%-自給率 = 食料輸入率

質問:生産額ベースは69%、カロリーベースは40%。この違いの理由を考えなさい。

図Ⅱ－1 食料自給率の推移



出所:農林水産省「我が国の食料自給率 - 平成17年度 食料自給率レポート - 」

世界の貿易：米と石油

- 中国やインドの成長で食料・資源の重要性高まる -
日本の農業が輸出で復活する可能性

単位：100万ドル

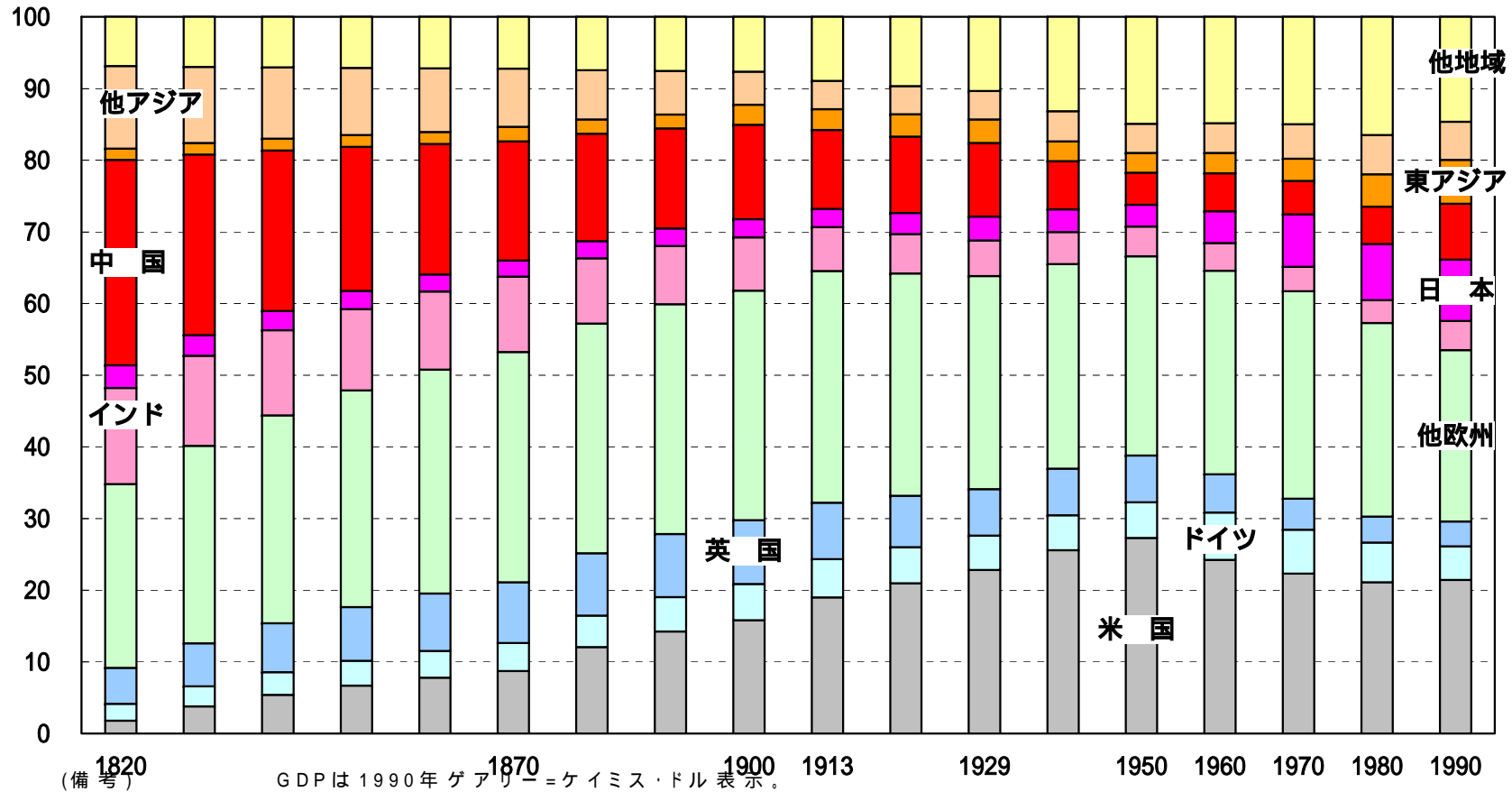
米 (042)		
国(地域)	2003	2004
輸出総額	7,231	8,207
タイ	1,830	* 2,219
インド	896	1,478
アメリカ合衆国	1,031	1,169
パキスタン	633	683
ベトナム	720	* 582
輸入総額	7,539	8,650
サウジアラビア	364	* 439
日本	250	344
イラン	273	* 318
フランス	272	307
イギリス	279	303

原油 (333)		
国(地域)	2003	2004
輸出総額	401,033	542,897
サウジアラビア	* 70,853	* 95,535
ロシア	36,841	55,099
アラブ首長国連邦	* 22,859	* 37,295
ノルウェー	29,020	35,995
イラン	28,179	* 34,951
輸入総額	426,476	570,271
アメリカ合衆国	106,989	143,180
日本	45,934	55,993
中国	19,782	33,912
ドイツ	23,346	30,971
韓国	23,082	29,917

出所：総理府『世界の統計』

<http://www.moneyginza.com/>

世界のGDP = 経済規模の推移



(資料)

1949年までのデータ; Angus Maddison (1995) 「世界経済の成長史 1820 ~ 1992年」から作成。
 1950年以降のデータ; Angus Maddison (2001) 「The World Economy - A Millennial Perspective」から作成。

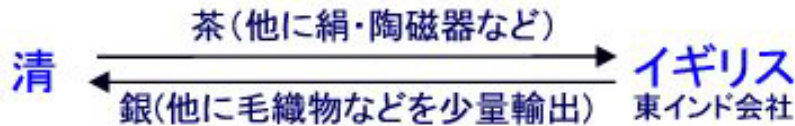
米国も欧州の植民地だった。

欧州の停滞、資源獲得と領土拡張の大航海。徳川時代に世界初の株式会社。英国以外で産業革命、貿易摩擦。18～19世紀は、欧州と植民地間の貿易。技術革新と2回の世界大戦。そして第二次大戦後、自由貿易体制確立へ

1488	バルトロメウス・ディアス、喜望峯<現在の南アフリカ>到着	1494	トルデナスヤリス条約(スペインとポルトガルの境界協定)
1492	コロンブスの第一回航海	1498	ヴァスコ・ダ・ガマ、インド航路開発
1502	中南米植民地へのアフリカ奴隷貿易始まる		
1519	マゼランの世界周航		
1521	マゼラン、フィリピンで殺害		
1533	インカ帝国<現在の南米の太平洋側>滅亡	1571	ポルトガル人、マカオ市建設
1542	スペイン出身でパリ大学出身のザビエル、インドに到着		スペイン、フィリピンにマニラを建設
1543	コペルニクス、地動説発表	1582	少年使節(天正少年遣欧使節)がポルトガル船で長崎港を出港
1549	ザビエル、鹿児島に、日本にキリスト教伝来	1586	欧州にジャガイモ伝来
1600	イギリスに東インド会社		
1602	オランダに東インド会社	1733	アメリカにおけるイギリス13植民地成立
1619	オランダ東アジア会社、バダヴィア(現インドネシア)市建設	1768-71	クック、オーストラリア探検
1635	徳川幕府が外国船の入港と貿易を長崎に限定	1770年代	イギリス産業革命進行
1640	オランダ、マラッカを攻略	1776	スミス、国富論
1642-43	タスマン、オーストラリア、ニュージーランド沿岸を探検	1776	アメリカ13州独立宣言
1652	オランダ人、ケープタウン建設	1793	イギリス使節、北京訪問
1661	イギリス人、ボンベイ獲得	1798	マルサス、人口論
1680	フランス、タイ・アユタヤに商館設置	1813	清、アヘン販売禁止
1816	イギリス軍艦、琉球到着、貿易を要求	1853	アメリカのペリー、浦賀来航
1817-22	イギリス船、浦賀(神奈川県)に		アメリカとイギリスでアフリカ奴隷貿易の抑圧に関する条約調印
1818	チリ、独立	1860	英仏通商条約の締結
1819	アメリカ蒸気船、大西洋横断に成功しリバプール港に到着	1868	明治維新
1825	ブラジル、独立	1869	スエズ運河開通
1827	ブラジル、イギリスとの間の奴隷貿易停止条約を批准	1869	アメリカ、大陸鉄道開通
1837	アメリカ、産業革命起こる	1876	グレーム・ベル、電話機発明
1840-42	アヘン戦争	1895	イタリアのマルコーニ無線電信発明
1846	穀物法廃止(自由貿易政策実施)	1898	米西戦争、フィリピンアメリカ領に
1908	大衆車T型フォード発売		
1910	日韓併合		
1914	第一次大戦(~1918)	1928	テレビの発明
	パナマ運河開通	1929	世界恐慌
1920	世界初のラジオ放送	1939	第二次大戦(~1945)
1927	AT&Tの太平洋横断無線電話サービス開始	1949	1ドル=360円の単一通貨制度
	リンダーバーグ、大西洋横断無着陸飛行に成功	1950	アメリカで初のカラーテレビ放送

19世紀の経済大国：英国と清の貿易関係

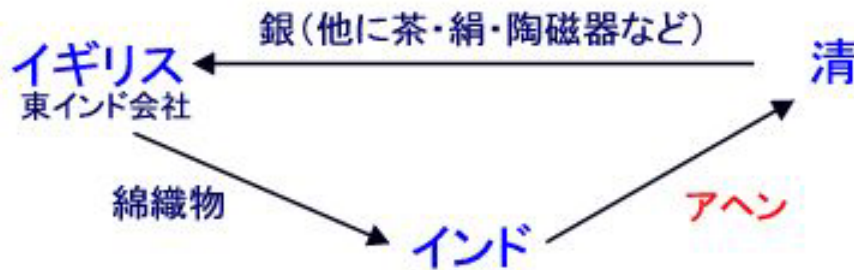
(1) 18世紀の貿易状況



イギリス、清に対する貿易拡大要求
原因

イギリスで飲茶の習慣が浸透。茶の輸入が激増し、イギリスから大量の銀が清に流出。

(2) 三角貿易



- ・東インド会社が赤字貿易解消のため、中国にインド産アヘン(吸飲・輸入禁止)を密輸入
- ・アヘンが清国内に広く浸透
- ・中国国内の銀がイギリスへ大量流出

- ・銀で税を納める農民の生活が困窮
- ・清のアヘン取締り

(3) アヘン戦争(1840～42)

- ・清は5港を開港(広州・上海・福州・廈門・寧波)
- ・香港の割譲
- ・公行の廃止
- ・多額の賠償金

(4) 不平等条約の締結

- 清の半植民地化 -
南京条約[1842締結]